OUSフォーラム2024 ポスター展示者への説明会

- 1. プログラム
- 2. 準備のお願い
- 3 当日(11/25)のお願い

2024.10.23 研究·社会連携センター 研究·社会連携部

1. OUS フォーラム 2024プログラム

会場開催 岡山プラザホテル

日時:会場開催日 2024 年 11 月 25 日(月) 13:00~17:50

前半の部 (講演会)

13時00分 ~ 13時10分 開会挨拶(学長)産学連携に関する本学の方針

13時10分 ~ 14時00分 特別記念講演 株式会社フジワラテクノアート 代表取締役副社長 藤原加奈 氏

14時00分 ~ 14時30分 産学官金連携事例

研究・社会連携機構長あいさつ 南 善子 教授

岡山理科大学 工学部機械システム工学科 寺野元規 准教授 岡山理科大学 獣医学部獣医学科 江藤真澄 教授 後半の部(ポスター・セッション:本学の研究シーズ)

14時50分~16時50分 ポスター発表 112件

ポスター発表と別会場での口頭発表

技術相談 15時00分 ~16時30分

交流会

17時00分~17時50分 産学官金連携奨励賞の発表と表彰

特別記念講演者の紹介

【講演タイトル】

未来を創造するDX ~ "多様な個の躍動"が生み出す組織変革~

株式会社フジワラテクノアート 代表取締役副社長 藤原加奈 氏

講演要旨

株式会社フジワラテクノアートは、岡山市北区富吉に本社を置き日本食には欠かせない日本酒・焼酎・味噌・醤油などの醸造食品向けの製造設備の開発・設計・製造及びプラントエンジニアリングを事業の主軸としています。未来に向けた企業の取組みの実例と、社員ひとり一人が個性や強みの取組みの実例と、社員ひとり一人が個性や強みを発揮して自律的に変革を起こす組織づくりの実践についてご紹介します。



2. 準備のお願い

【 出展者リスト確認のお願い 】

3. 当日(11/25)のお願い

昨年会場入口



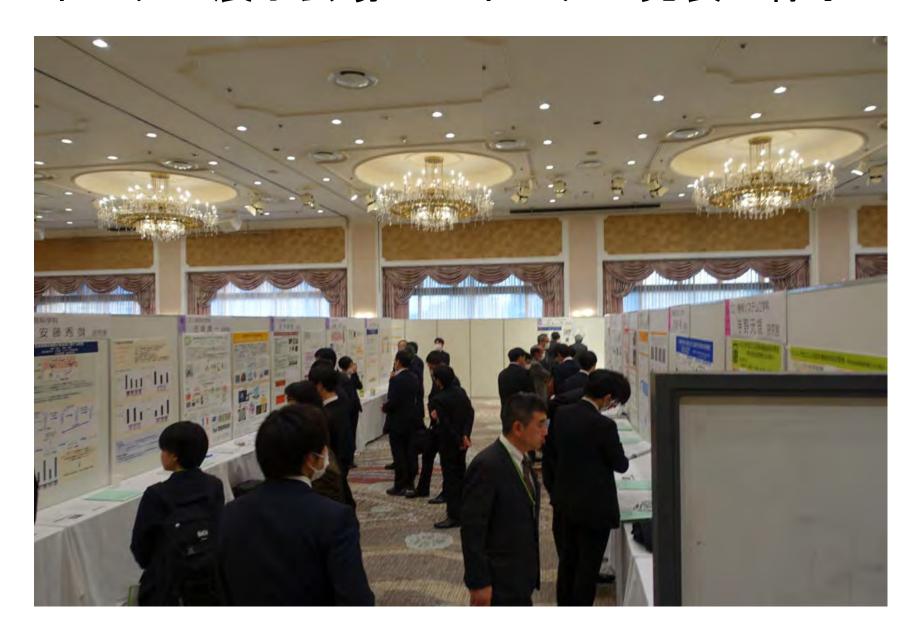
特別記念講演会場と御講演の様子



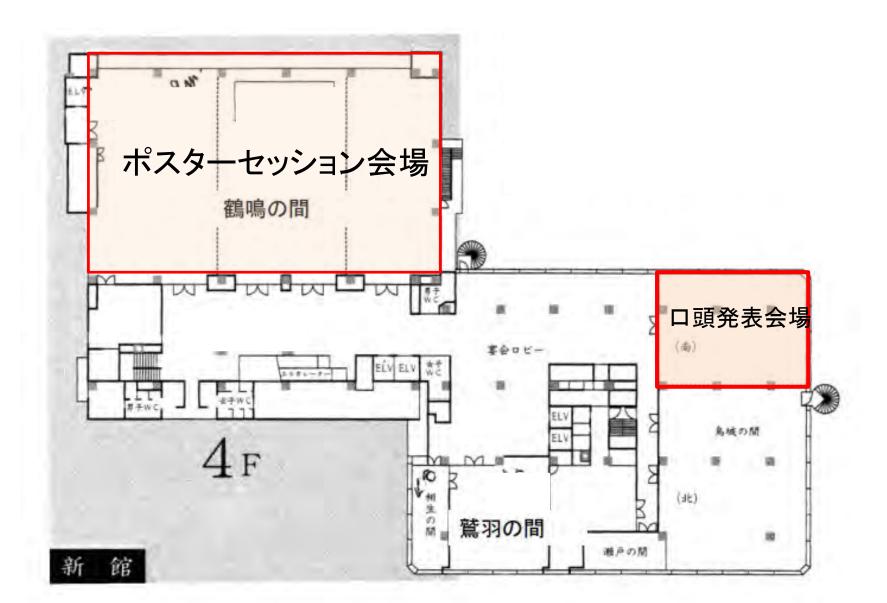
口頭発表会場とその様子



ポスター展示会場でのポスター発表の様子



会場



□頭発表 (烏城の間)

同山理科大学 基個教育センター	教授	矢城 陽一朗
岡山堰科大学 工学館	准教授	荒井 伸太郎
岡山環科大学 情報現工学部	教授	赤木 徹也
国山理科大学 情報理工学組	助教	横田 雅司
同山理科大学 生命科学修	教授	安藤 秀哉
倉敷芸術科学人学 生命科学部	調器	三重製一部
岡山理科大学 基盤教育センター	教授	堀越 売
岡山理科大学 財医学部	按按	深瀬徹
	岡山理科大学 工学部 岡山理科大学 情報理工学部 岡山理科大学 情報理工学部 同山理科大学 生命科学部 ・ ・ ・ ・	国山理科大学 注象授 国山理科大学 情報理工学部 教授 国山理科大学 情報理工学部 助教 同山理科大学 助教 同山理科大学 教授 愈敷芸物科学大学 生命科学部 調師 同山理科大学 重給教育センター

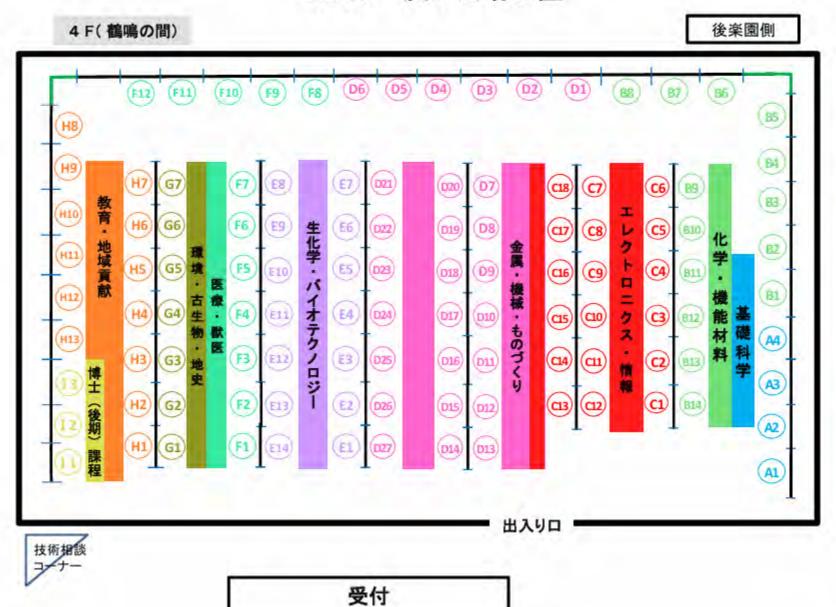
OUS フォーラム 2024 研究シーズ 出展リスト

※代表者 - 本字 ※発表者 = 氏名の文頭に(

	Δ #	福科学
NAME OF	展示ターマ	出用者
-		
A1	許羅形分態型方程式の初階値問題の適切性	②数本層已 阻離療太
A2	宇宙初期のインフレーションを起こす着しいモデル	田村市III. 個階框子、National Chin-Yi Liniversity of Tachnology
A3	宇宙のダーグマターをシミュレーションから調べる	(中國初時、 機関植子 、中原大学、和古研究大学院大学
A4	虚2次例数体の小野不安量について B 化学	(中产)(10.00)
1		動能材料
No.	原示テーマ	出版者
B1	サスティナブルな資源を用いた新常材の開発	INERNA, CILIERIA
B2	変定化した a ーキノンからの環境にやさしい 1.4 - ベンゾジオキサン骨格の機能	安田和唐、 建木塚人 、泉村自命
B3	光を利用した電子移動反応による含葉素パイ拡強化合物の含成	· 胸田鳴路、日本ド水、三市時名、永水後、四田時名、周山大学教名野型総科学研究所
B4	位置および立体選択性を精密制御したチオールーチオアルキンクリックケミストリー	奥田靖落 、永州检、三浦也希、石球彩水、松洞巴雅、竹田河田
85	空能基化 [n] ヘリセンのモジュラー合成への保制	(祖見保重、岩倉団具、月田保育、東田電名、 新田明音
B6	酸化的光環化によるジスルホニル [v] ヘリセンの合衆	岩倉市市、老児友寺、明正開志、新田明春
B7	悪理能フッ素化クロリン鉄関係の合成と関係活性	寿司治夫
B8	秘容性の無い2次体のマイクロ流路内における交互流の数値計算	北野菜、未永道、 甲野椰之
B9	多波接・多光子分光法を利用した野場計能法の開始	SENOTE IDHYTE 商標広覧 19并版 安 级大学
B10	者土類水変化能半導体(YHJ)。(YbHs) v.、を用いた薄膜トランジスタの試作について	中村第二早日初史 「八州大学、埼玉大学 米平大学
B11	DLC 静の開発における DX プロセスの導入	2月花野芳華。 中格雅門 、三菱彩雕(株)
B12	圧力句配型スパッタ法を用いた高硬度 DLC 機の開発	①土権政策、東洋便、小佐野労等、中省連門、テニュフス(株)
B13	コンピュータシミュレーションによる頼しい創業	子矢切除一間、松油包度、中間化工(株)、FMC 食業コンジージアム
B14		牧神
		コニクス・情報
-	■ 小 テーマ	出版章
Cl	送場技能は終におけるドローン機能開保からの東芝地能資際検出	□太田寛彦、大月敦史、京景師、アルモフバレリー
C2	徳人権を併用した促送計価システムの純粋	
C3	バーチャルリアリティ (VR) 技術を用いたパーチャルショップの開発	市市市、久野弘時
C4	- 税制情導手法の検討-	文明56 FBS TREE
C5		
C6	生成 AI を利用した 3D モデル生成のデータセットによる機器化	○ 計画
C7	ハンドトラリオングを用いた労働の操作	- 伯名德之 国後 淳
C8	三リ波レーダーを用いた赤稜艦バイタルチェックシステムの開発 テップ内ネットワークに基づく次世代前線処理アクセラレータの開発	常井神太郎、「曲井大地」に田田大。佐田田平、古竹河平、広島大学、エスタカヤ電子工業(株)
C9	アップ内ネットワークに参うく、次正TV回搬が建アクセフレータの何光 足元重像を用いた人物連絡手法とその応用	日は時人、 日日明年 三日明人
C10	こ次元モデルを用いた機械学習用機能データの回覧性域手法	(日本日本) (日本日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (
C11	アテンションマップを用いた Stable Diffusion モデルの評価方法	○原バルノ、 李天龍 、大西副外、権名諸光
C12	Blackbox 最適化を用いた信号雑制像のためのシミュレータの開発	博物味 李天勝 八日前の 特で加力
C13	ハンドヘルド操作による動画からの3次元姿勢発定のための追加学習と転移学習	(中国可己、 李夫朝
C14	が参約な生産スケジューリングシステムの開発	()推注原作、米湖防斗、共和防也、小田拉也、 片山藤 野
C15		(銀田教之)(4)ウエラコ
C16	差分進化を用いた雑物組入力型モアル多利制御	· 宋明5. 小林田. 田田0-
C17	自権型ナビゲーション人物選挙スマートカーの開発	作水主角 : ①尼克島
	Lizap Motion Controller を用いたリアルタイム 3D ホログラムプロジェクターにお	
C18	ける手の働きによる3Dモデル操作システムの開発と評価	荒木主典, ①排价
	D 金属・種	ボ・ものづくり
Who all	展示テーマ	进稿者
D1	受動参行メカニズムに集づく二定動歩行の実際について	→以前一門。 資質質性 、特別太、古田石田、也蔵大学、大師司を通信大学
D2	季軟御を持つ多足類ロボットの随所状について	- 多短期间、但以智也、双田原任、 农益数也、 种是本、言田后进
D3	TUM の全状態変数を制御するためのリンク運動軌道の提案方法と結構	生H作4. 富田隆着. 林思太. 写写哲言
D4	走行車項の新事他計画法の改善のための車両運動シミュレーション	李田朝之死。 曹田福建 ,衣芸智也,特殊太
D5	無限ショットピーニング面の表面状態に及ばす技能材積後の影響	○任何格、所并所思 竹村政 革、丁野元章、雍明隆
D6	株間ショットピーニングによるアルミニウムの表面視度及び理能応力への影響	· 国家可能 - 竹村晴年 - 守野元泉、南泉市
D7	家政用ライド引お産都シミュレータの改良	□ 元元元元 赤木酸也 - 西男弟 - 神彩路 - 柳田座町
D8	異議配置を走備可能な確接型配態検査ロボット	(石田卓州、春本微也、碧明度、油味水、桃田原石)
D9	制受職の転動疲労等後に及ぼすグリースの影響	○○京師秀郎、ムガトアハマドタニアル、 株正施 、日本ダルース(株)
D10	キャピテーションピーニング条件の最適化に跨する基礎的研究	(40本見前, 平野光差, 朝廷書 , 摩江大学
D11	プラスチッグ健康と顕信事における他性証拠比の規定	() 場合性, XF把保险, MIEB
D12		田湖世界、 等野元朝 、南水一郎、唐澄開寄工業 (43)
D13		常田大塔、旧河世紀、南野光親、(株) 南部共制
D14		透心病、田原世俗、 奇野元期 。(2)村田洋、南京隆
D15		杨田锋司 、○林門下
D16	海水発電ユニットを搭載した水中ドローンの研究	横田韓国、こう川東市、砂砂平
D17	前後韓二翰経動機動パイクの前後朝トラクション明御に同する研究	MENT OFFICE GLY
D18	ARB 加工法により作製された認識期間 ALSI-Ge 系合金の時間季階	中川事友、○佐藤星本、金台御人、印刻大学
D19	CN 熱限によるバイオディーゼル部生プリセリンの精製・利活用技術	近端千幕 、以先分木石士、用門開門、西山間4
D20		字排出、翻本具作、图本法二

221	2 足歩行ロボットによる 3D 単受動歩行	□□□□□□ 静本製作
22		大作品
23	All to 1 1 mm to 1 mm to an an an and an	€±美年 中井資治
	CFRP の展開せん新物性(独衆と破壊ひずみ)の所書	() 表现员 中种制油
	前用省エネ鉄書のコンポジット部店の衝撃領導特性停傷	「行門女性」 中共資治 、ナカシマプロペラ (44)
	群ロボットを用いた物裏裏送システム	(元) ((京) (元) (元) ((元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (
27	水圧を利用したドア自動化システム	石魚屋里 小神童 祖田被司
	E 生化学・バー	イオテクノロジー
a	原売テース	出版名
	竹物に含まれる確保術治療活性物質の採案	○小林を利 松海協康 . サトウキビ工作をきま
2		
3	メイラード反応に関して生成する善色・補変物属生成政応に対する抗酸化物質の影響	○ 日本学書、松海田康
	野生競与の探索と譲退への応用	2.00 財政 金子野略 総正知末
4	拠生等を用いた信仰エステルの意味分解反応の開発	(中村銀月、1)円前人、 建木厚人 、泉村昌世
5	ユニーグな両生研究モデル "ヤマトヒメミミズ"	(三百名と、東本国で、田所総介
6	種原理境拠生物由来プロテアーゼの産業利用	古肖峰一
7	AFEX2 タグを利用した DNA トポイソメラーゼ II と相互作用する RNA 分子の解析	○世共陽繁。周田正五、 河野森二
8	試験紙を用いた哺乳類精子内の ATP の化学発光による検出	等百进, 松神取 治。因几台河南里大学
9	ヒト真皮燥練芽細胞を用いた過酸化水素消去メカニズムの解析研究	□ - Sangual - 竹本和海、安藤市体。日元×V (44.)
10	最元型グルタチオン (GSH) のメラニン生成解制作用の評価研究	(//#/如字 周伯叔文· 安藤秀雄
11	メラニン色素など質易を貪食した真皮線維芽組物の変化を解析する	- 新見幸屯各、祖知さん、氏宗等各、安藤秀雄
12	農水型 UV-LED 微生物不活化装置に及ぼす処理水透過率の影響	搭乘車 1 面景、玄道、波迈京太、小叶岐、曹厚、共上大烈、千代田工庙(株)
13	さらら花餅但で誰した清清に含まれる特殊な際と各種望	· 明月衛生 海湿料 宝宝还是 (株)
14	愛知所整備市における家畜ウズラの遺伝的多様性側面	布目主夫 。受到可获解以外近期的
14		
		i · Mg
H	原示まーマ	出原名
-1	プロー式イムノセンサーによる炎症マーカー物質開定法の開発	(周時時、前空型、(格) シーズアック・
2	商山圧はリンパ管の資常を引き起こすのか?	年三世皇 石田美山、 南田昌寺 、村王弘子二十分建介、劉貞博
3	高田圧特田智内改雑等の分子様的団子の保索	○右川紹介、用田世規、 向田昌司 、兒主結子、永明經介、規約特
4	ヒストン H2A のグリコシル化はトリブルネガティブ乳がん(TNBC)の増殖・浸漉に動く	金田川子、 早川県町
5	巨大培養筋組織作製方法の制発 -筋等細胞を使用した自己凝集組織の作製-	内間は、 internation (1) 久田京地
6	超曲と形動を機模した生体吸収ステント用適応系試験報酬の解発	(株分二郎 1982年2月 A.内.) (株) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大
	Annual Development Committee of the Comm	京本版的,2017年,夏京县 - 周田智司、古本年代、佐田青華、久校哲一 - 平泉市。
-7	いきもの QOLプロジェクトープロトタイプの改良と研究開発基盤の構築へ石けて	江南森森 三木均原
-8	新規モデルマウスにおける ICI の抗腫瘍効果と皮膚 s AE 発酵の樹油	三面新一郎
9	程高マウスの服電外科切除後における時間樹状細胞サブセットの経前的変化	□ 三面禁一郎、江外明宗、南州祖士、任御上町
10	ナットウキナーゼにより (C) の抗腫瘍効果を増強する治療戦略の構築	三面躺一面。 矢田号指示于
11	キャットフレンドリーなテレビ CM の制作に向けて	(中利有数量、深高能、オトサファリ(M)、(M)(ワンダーランドハウミ、マルトモ(K)
12	緑釣内己豪集による防・耐接合組織体の作製と力学和透検対	着井良輔 、G古伽文宗、明川修印、日本部居住命科学大学、弘宗大学大学院
12		
-	G 環境・さ	
15.	通りテーマ	世 原 包
31	ガボン共和国ムカラバードッドが国立公園におけるニシローランドゴリラの役割野外研究	○竹ノ下祐二、学板大学、単地県大学、ガボン田区和内容はセンター
32	震を伴う隠地筋「肛川あらし」のAI 予報の開発	○工業部で、大橋を主、公工制算環境大学
33	停生・古環時代の赤色維料使用環幕に関する研究 一覧山県みそのお遺跡を駆倒に一	三限一使、○日任均
34	考古学より考える近世から近代にかけての間山の洪水被害と地水について	三限一使, ①中田均元
		· 森田島、白色名、中華子苑、正正社也、中谷田、古木一田、古松田人、神田子、 何何かけ
35	砂糖研究を中心とした新たな水学研究シーズの確立	モンゴル科学アカデミーの生期研究的
36	最終類水階から兜斯世にかけての風送鹿起源の変動	第三衛隊 賛目が、京府女子大学
37	- 造・結算化石に保存された骨軽質タンパク質の検出とアミノ機能別の解明	・ 仕権等次 子原原士郎 第三次首、制度を入、佐今本等 L コル大学、モンゴル科学アカゴニー古・大学科学所
3/	京編集に存作権社会では「共産国と2人に2首の展型をトニュ 略称別の報酬	宣山大学、モンゴル科学アカゴニー古世史学研究所
	H 政育/	地域貢献
-	頭をラーマ	出風者
-		SINE NO. OF THE PARTY OF THE PA
11	化学物質の「デザイン・かたち・はたらき」を学べる検型工作	THE RESERVE WAS TO SELECT
11	教育・経究機関としての工作センターの取組み	(親草陽 、竹野元泉、豊富正治、烏山原耳
11 12 13	教育・研究機能としての工作センターの取組み 研究・社会連携機構総合機器センターのご紹介	着永智夫、県井沙司、三州市和西
11 12 13 14	教育・研究機関としての工作センターの協能会 研究・社会連携機関総合機器センターのご紹介 授業セルフ場面将生システムの契別によるアクティブラーニングの最適化	着永智夫、県井談司、三州ホ利西 高橋信奉、坂□北海、御王等人
11 12 13 14	製育・研究機能としてのエドセンターの原稿を 研究・社会連携機能を企業をセンターのこと的 発音セルフ線曲用をシステムの試引によるアクティブラーニングの最適化 OUS 製造・データサイエンス・AI 教育プログラムの紹介	新春日天、原井政内。 一例本利西 高極日本 坊口以内、初刊等人 - 中川田和、大知一比、安田商徳、東利の利、平川田郎、三利田子
11 12 13 14 15	製育・研究機関としての工作センターの短組み 研究・仕会連携機関を企業がシアーのご紹介 使きせいフ切回用きシステムの図代によるアクティブラーニングの最適化 OUS 登場・データサイエンス・A 教育プログラムの紹介 提挙死処の影響後を利用したアドバイスをほとステム	着水田夫 明井秋日 新木利田 高和田春 明日は内 新士命人 中川田和、大田・上 日出前後 地子子 プロ存在 (中日生) 東州の川 甲八田市、土曜田子 大田子子 プロ存在 (中日生) 株名の光
11 12 13 14 15	製育・研究機能としてのエドセンターの原稿を 研究・社会連携機能を企業をセンターのこと的 発音セルフ線曲用をシステムの試引によるアクティブラーニングの最適化 OUS 製造・データサイエンス・AI 教育プログラムの紹介	 新水田天・原井沙門、一州本州西 高和藤章 等に北京・田王寺人 中川田和、大井一上・田田青寺 東州京川、平川田宗、子津田子 大田子士・戸田市県、伊や田宗・春名四光 高橋東平 夕田が成 ※ 大郎日出 ※株割の川・小子近也、別別らって (株)
11 12 13 14 15 16 17	製育・研究機関としての工作センターの原料を 研究・仕会連携機関を合成的をレクーのご紹介 関連セルフ環由所をシステムの図刊によるアウティブラーニングの機関化 OUS 製御・データサイエンス・A 教育プログラムの紹介 授業発売の影響機を利用したアドバイスをほうステム せとうち食物財化の一大調節分析とその成果	高水田夫、毎井設司、田中本村田 高和田春寺 近日江内、田田寺人 中川田和、大田・上、田田寺社 知刊の利、平松田元、子神田子 七四子士 戸町寺区 (中中田本 春名広光 高祖田平 の田小成、田田 大田田山、小田田山、川田市山 7 185 七中北、田田寺町 利日次、東区大田 田田田 千年 東太正、本村大阪 田川寺町」
11 12 13 14 15 16 17	製育・研究機関としての工作センターの原料を 研究・社会場所機関を合成的をレクーのご紹介 関連はルフ環境所参システムの図刊によるアウティブラーニングの構造化 OUS 製造・オータサイエンス・A 教育プログラムの紹介 展達完殊の影響機を利用したアドバイスをほどステム せとうち食事間外の二大調査分析とその成果 学生参加型ゴビ物演フィールドワークの実践と開発感教育への展開 [2024 年期]	高水田夫、毎井終日、一部本利用 高和信奉、切口出外、割工等人 中川銀和、大田・上、日出資物、押り勿利、平均担応、土耳無子 と同子を「伊町本区(何の世の 権名広文 高精御甲 の日かば、第20 大きの日、今後第四、小さぶ也、四月下。7 日か 七日ぞ、御田野、村田久、資本を見、南原大阪、千里原太郎、木井が定一四川等和 と一切の日本アナラーニールを対象を含
11 12 13 14 15 16 17 18	製育・研究機関としての工作センターの振起み 研究・社会単純機関など機関センターのに、総介 要素化のプロボータンタイのの打け、よるアクティブラーニングの最適化 OUS 製御・データサイエンス・A 教育プログラムの紹介 健康北別の影響後や利用したアドバイスを建ジスタム せとうる企業機がの二十次国を分析とその成果 データが同じ工法を増加ィールドワーグの実践と特殊意教育への展開 (2024年度) 中学校数字における原生的な影響等の例示	 高水田夫・毎井終日、一般本利用 高州都等・毎日出外、 田子寺人 中川東和、大井・正・田田寺院 東州の別、平杉田志、生津原子 七戸子・丁四百年 「中田寺院 東州の別、平杉田志、生津原子 高橋原平 の日かば、 熊彦 大声君は、 今都県り、 小子畑也、 川県ドレブ (株) 七日老・曽田野・州日次、 東方之見、 馬原気は、 千甲原太郎、 木井が芝・市川等利に 上・プロパラ・カナラー 一ナナ 東洋緑文所 田十里地、 福田寺人
11 12 13 14 15 16 17 18 19	製育・研究機関としての工作センターの振能力 研究・社会場所機能など開発センターのご紹介 教育セルル提出内等システムの感引によるアウタ・オフェーングの最適化 CUS 製理・アータサイエンス・A 教育プログラムの紹介 授業的販のを整理を利用したアドバイスをほどスタム せどうち程度機能のニーズ調査分析とその収集 デーラ加田ゴビを換了スイールドワークの実践と併物意教育への展開(2024年期) 中学校教学における場合的な要要検の根示 全国学力・学世状の画面の分析による社会の数学に対する学型を収の現状	高水田夫、毎井終日、田中本村田 高和田春 位日に中、田田寺林 中川田和、大田・上、田田寺林 神村の利、平松江田、子神田子 七四子本 戸町存在 (中中部の 神名広光 高田田中 の日か成 恵と 大南西日 34年30、川台湾也、河東ドレブ(株) 七中老・田田寺林 利日次、東左大郎、東京区、千年38大田、木井万里、田川寺和 上 ゴの料フテカテニ・コナル学科表所 日子寺田 湘田神人 日子寺田 湘田神人
H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8	製育・研究機関としての工作センターの振起み 研究・社会単純機関など機関センターのに、総介 要素化のプロボータンタイのの打け、よるアクティブラーニングの最適化 OUS 製御・データサイエンス・A 教育プログラムの紹介 健康北別の影響後や利用したアドバイスを建ジスタム せとうる企業機がの二十次国を分析とその成果 データが同じ工法を増加ィールドワーグの実践と特殊意教育への展開 (2024年度) 中学校数字における原生的な影響等の例示	 高水田夫・毎井終日、一般本利用 高州都等・毎日出外、 田子寺人 中川東和、大井・正・田田寺院 東州の別、平杉田志、生津原子 七戸子・丁四百年 「中田寺院 東州の別、平杉田志、生津原子 高橋原平 の日かば、 熊彦 大声君は、 今都県り、 小子畑也、 川県ドレブ (株) 七日老・曽田野・州日次、 東方之見、 馬原気は、 千甲原太郎、 木井が芝・市川等利に 上・プロパラ・カナラー 一ナナ 東洋緑文所 田十里地、 福田寺人
H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9	製育・研究機関としての工作センターの振能力 研究・社会場所機能など開発センターのご紹介 教育セルル提出内等システムの感引によるアウタ・オフェーングの最適化 CUS 製理・アータサイエンス・A 教育プログラムの紹介 授業的販のを整理を利用したアドバイスをほどスタム せどうち程度機能のニーズ調査分析とその収集 デーラ加田ゴビを換了スイールドワークの実践と併物意教育への展開(2024年期) 中学校教学における場合的な要要検の根示 全国学力・学世状の画面の分析による社会の数学に対する学型を収の現状	高水田夫、毎井谷町、田村本村田 高和田春 位口に内、田田寺人 中川東州、大田・上、田田寺院 知刊の利、平松田志、子神田子 七四子子 7回存在 (存を取る 情名広光 高田東中 の田水成、恵と 大南市日 34周周の、川台湾也、四駅ドレフ 1850 七中老・田田寺 4月次、東本之里、司徳寺屋、千神康太正、本井方定 田川平利 上 ブロバモアカタニ コナを学研究所 日子寺町 福田博人 日子寺町 福田博人
11 12 13 14 15 16 17 18 19 10 11	類言・観察機関としての工作センターの指摘を 研究・社会事情機関をご時機をセンターのご紹介 競車化のプロボータンスチェの同じによるアフティブコーニングの機関化 のUS 知識・データサイエンス・A 教育プログラムの紹介 設置系統の影響技を利用したアドバイスをはシステム せとうぎ産業関係の二一次国産分析とその成業 データが配け上後漢フィールドワーグの実践と併物施教育への展開 (2024 年度) 中学校設学に近ける発売的な影響所の既示 全世学カ・デ盟状が開催の分析による主教の数学に対する学型療像の現状 両生物の関係におけるサウンディング型作機関係の法学に対する学型療像の現状 両生物の関係におけるサウンディング型作機関係の法学に対する学型療像の現状	高水田夫、毎井谷司、田本和田 西郷都泰、切口田内、田子寺人 中川原和、大神・上、田上田舎徳、神村の利、平均田志、子神田子 七三年子、行司有は、何の世際、春冬広光 西郷中、の日が成、毎の大大寺日出、今年高の、小方流也、刊明行もづ(株) その長子、原田県、本田大田、東の大田、市県内以、千田県大田、木村行祀、田川県和工 三十四日、福田寺人 田田寺町、福田寺人 日日・吉町、福田寺人 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10	製育・研究機関としての工作センターの振起み 研究・近点単純機関を占機器センターのに、総介 競車化力が単向等シスチムの同门によるアクティブラーニングの最適化 CUS 製剤・データサイエンス・AI 教育プログラムの紹介 競車死効の影響後を利用したアドバイスを建立ステム せとうる企業が外の二十分開発が任その成果 デ生学が取り二十分編列が任その成果 デ生学が取り二十分編列が任その成果 デ生学が取り二十分編列の研究 全国デカン・デ部状況開始の所示 全国デカン・デ部状況開始の対所による必要の数学に対する学型参索の教状 用生物円接着におけるサウンダイング型の指導者の既に同じる研究 委集団と市の影響が実施を使かしたイタリア制度を作りたい!	審水物夫、毎月終日、一般は利用 海和原業・協口比例、 新日等人 伊川運和、 大田・旧・田田舎後・東州の利、甲川田忠、王孝陽子 た田子本・丁田和田、「伊の野田、株名の大 西田郷・ 村田子 、 東京 大海市日、 大藤田山、 小方泊也、 和田 トラブ (株) た田田郷・ 田田郷・ 村田 、東京 大海田山 ・ 大藤田 、 小方泊也、 和田 トラブ (株) た田田 ・ 田田郷・ 村田 ・ 大田
11 12 13 14 15 16 17 18 19 10 11 11 12	製育・研究機能としての工作センターの振能力 研究・社会場構構築を占拠後センターのご紹介 教育という場合用からスタルの取引によるアクラップラーニングの最適化 CUS 製造・アータサイエンス・A 教育プログラムの紹介 競声抗災のを整備を利用したアドバイスをはジスタム せとうち程素器がの一本実験自分化さその収集 学書が加盟工工後表フィールドワークの実践と情報意教育への展開 [2024 年期] 中学校数学における場合的な要要様の明示 全世子力・学習状に関目の分析による自然の数学に対する学型意欲の現状 同生生の決事におけるサウンダイング型作業時間の近年に同する研究 実施育た予防の販売水準和を生かしにイタリア相談を作りたい! 情報セキュリティ教育のためのスマートフォンゲームアプリ神祭	高水田夫、毎井終日、田中本村田 高和昭春 位日江内、田田寺林 中川東州、大田・上、田田寺林 東村の利、平和田志、子寺田子 地田子主 江南寺区 (中中部、春名広光 高橋原平 の日か成、恵と 大海自日、北海県の、小田湖内、川田下で7 (株) 七中老 田田寺林 利日次、京本港、南県西原 千甲県大田、木井方区 田田寺丘 上 コの日マスカッコ・コナ東が終京所 日本寺町 福田寺林 小江東北京、第田田寺林 小江東北京、第田田寺林 (本月) 中村市区 (株) (日 17日下3 年本月人 本戸僧区 (株) (日 17日下3
H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12	製育・研究機関をしての工作センターの原総会 研究・企会を持機等総合機器センターのこ場合 製造・化のプロボータンスチルの打印によるアクティブコーニングの最適化 のUS 製御・データサイエンス・AI 教育プログラムの紹介 製造発熱の影響後を利用したアドバイスをほとステム せとう音楽を観光のニース国自分研えその収集 デ生きが配丁に登録フィールドワークの実践と情報機能を有への展開 (2024年度) 中学校数字における形式のおりでは、また。 全国学力・学団大の国産の分析による社会の数字におする学型意象の現状 用生物に関係におけるサンツイングを出場時間の近年に同する研究 変換物性テロの表面水質物を含かしたイタリア料理を行いたい! 関係をデーマ	高水田夫、毎井終日、田は中田 西郷田春 切口に内、田田寺人 中川東州、大田・上、田田寺徳 東村の別、平仏田郎、子神田子 大田子子、戸田寺郎、何の世の 春名広光 西郷田平 の田が成 ※ 大小市日 今日本の、小子市は
H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13	製育・観察機関としての工作センターの短組み 研究・近点単純機関的ご機器センターのに、総介 製造・化力型画用ラシスチムの計(1)によるアクフィブラーニングの最適化 CUS 製造・アータサイエンス・AI 教育プログラムの紹介 製造北外の企業機関を利用したアドバイスを建立ステム せとうる概要的外の二十分開設が大きでの改奏 デ生きが取り工作を減りイールドワープの実践と無勢総数育への楽術 (2024 年数) 中学校数字にあける映画的な映画像の開ぶ。 全田学力・学習状深画像の分析による自然の数字に対する学画像水の現状 同生も用途際におけるサウングイングを作場画像の広和に同する研究 要場面性予切の表演が実際を使かしたイタリア制度を作りたい! 関係セキュリティ製造のためのスマートフォンゲームアプリ時名	新教育美、徳山北京、田村本村市 西衛衛拳、佐山北京、田田寺林、 中川東州、大田・田・田田寺林、
	製育・研究機関をしての工作センターの原総会 研究・企会を持機等総合機器センターのこ場合 製造・化のプロボータンスチルの打印によるアクティブコーニングの最適化 のUS 製御・データサイエンス・AI 教育プログラムの紹介 製造発熱の影響後を利用したアドバイスをほとステム せとう音楽を観光のニース国自分研えその収集 デ生きが配丁に登録フィールドワークの実践と情報機能を有への展開 (2024年度) 中学校数字における形式のおりでは、また。 全国学力・学団大の国産の分析による社会の数字におする学型意象の現状 用生物に関係におけるサンツイングを出場時間の近年に同する研究 変換物性テロの表面水質物を含かしたイタリア料理を行いたい! 関係をデーマ	 高水田夫、毎井終日、毎年秋日 森園都春、毎日本内、瀬田寺人 中川東州、大田・上、田田寺院・東村の利、平松田志、子中田子 大田子子、戸田寺院・村々世郎・春名広光 森園郷甲・母田が成・第三 大海市日・今年第四、中谷市也、初明下もフ (株) 石田之子・西野藤・村田大・東方之流、南地西紀、千塚原太郎、木村が窓・田川寺柱 モノロ科子アナスニーフト教育経済所 田子寺院・福田博人 日子寺院・福田博人 日子寺院・福田博人 の北京寺士・ 勢田従邦 で大田県本・ 勢田従邦 (2.70歳 中川村に原・(特) 以当日で 多々別人・木戸備之 出版名

ポスター展示会場配置



【 展示ポスター 】

用意されているもの



番号

〇 〇 学部 〇〇〇 学科

〇 〇 〇 〇 研究室名

〇ポスター展示用ボード:1テーマ当たりの 展示面積 (W180 cm×H210 cm)

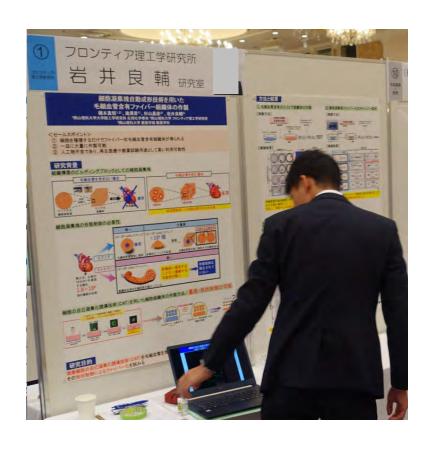
○机:ボード前に机W1800×D450×H750mm)

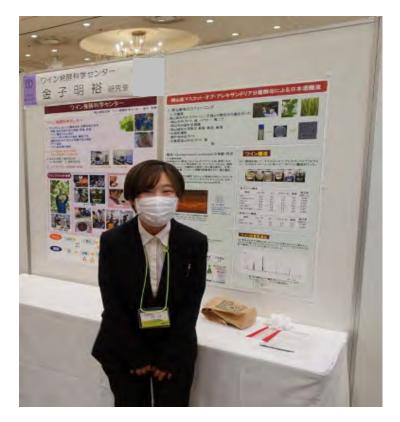
〇研究室等表示帯:ボード上部に学部・学

科•研究室

展示ポスターの作成について

〇ポスターサイズ: (例) B1サイズ(W728×H1030mm)を2枚 〇字、図表を大きく見やすく(フォント: 最小でも42pt程度以上) 〇既存のものがあれば、それを使うのは構わないが、見にくい ものは再作製を





展示ポスターの記載項目

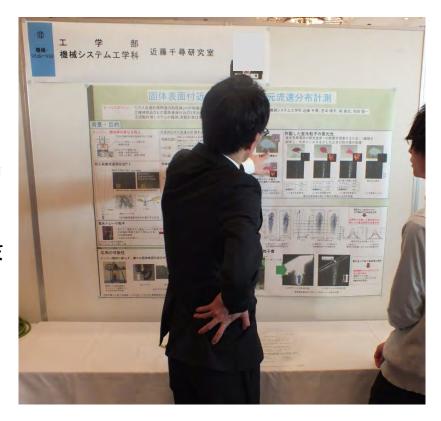
- 〇タイトル
- ○「研究室名」は、必ずしも必要ではありません。

番号

- 〇 〇 学部 〇〇〇 学科
- 〇 〇 〇 〇 研究室名
- 〇<研究目的・応用の可能性>明記
- 一般の方が理解できるような平易な言葉で 〇字・図表を大きく。
- 〇特許出願済みのものは、記載してください。(出願番号or 特許番号 など)
- 〇特許出願の予定がある場合、必ず11月22日までに出願を終えておいてください。



アブストラクトやポスターに記載のある 場合



展示・取付け方法

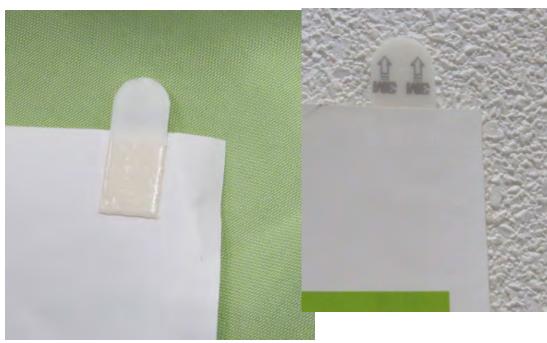
- 1.**コマンドタブ** で直接貼り付ける、または(ポスターをケースに入れる場合)チェーン (ひも)を介してフックにぶらさげる。
- 2.貼り付け用コマンドタブは、研究·社会連携部で用意し、当日は、技術相談コーナの机の上に置いています。
- 3.フックが必要な場合は、研究・社会連携部まで(11月20日までに)ご連絡ください。 フックは研究・社会連携部で用意しますが、ケース、チェーン(ひも)は各自用意してく ださい。

(フックを使用する場合は、コマンドタブは用意しません。)









搬入 · 搬出 · 設置方法 · 時間

〇当日(11月25日)の午前9時から正午までに、搬入・設置してください。

必ず、当日正午までに、設置を完了してください。 設置場所は当日、研究室等表示帯あるいは入り口にある 表示を確認してください。

- 入口:ホテル内部のエレベータを使用してください。 搬出・撤収は、当日、17:00~18:00を厳守。
- 〇大学からの運搬:11月22日(金)17時までに研究·社会連携部までに届けていただければ、当日9時までに会場に運搬します(岡山キャンパスのみ)。それ以外は、各自でお願いします。

ポスター展示、発表の方法

- ○14時50分から16時50分までは、誰か(質問に答えられる方)がポスター前、あるいは近くにスタンバイしてください。
- 〇デモ用必要設備の確認 デモンストレーションが必要な場合、適宜実施

(電源関係など11月20日(水)までに研究・社会連携部までご連絡ください。)

- 〇パソコン等使用の場合、5 m程度のテーブルタップを 用意してください。
- 〇ポスター発表をする企業関係者におかれては、名札等 の作成のため、説明者の所属名前を至急、ご連絡くだ さい。

ポスター展示終了後に名刺交換会及び産学官金連携奨励賞の 発表と表彰式を開催します。

〇表彰される方は、お残りください。

その他

- 〇ホテル内には、飲み物の自販機はありません。各自、持 ち込むなどの対応をお願いします。
- 〇駐車場は駐車券を発券するシステムになりました。 打刻の機械(無料となる)を受付に設置するので、打刻 してください。

OUSフォーラム2024 締切日一覧

当日のデモ用電源やフック 11月20日 (水) 大学からの運搬物 (ポスターなど) 11月22日 (金) 17時

特許出願(必要な場合) 11月22日(金)

ご静聴、有り難う御座いました。